

【サタン・悪魔 と 魔神、邪神・邪霊の違い】

- 5 サタン・悪魔とは、『神』に使われている戒告役で、《神が創った存在》であり、神から離れて傲慢になっている人間に罰を与える役なので、自ら悪行を犯すことはありません。
また、サタンと悪魔についての違いは無く、読み方が異なるだけの同じ存在です。
- 10 サタン・悪魔が肉体を持って生まれるということは、ありません。
但し、人間に罰を与えるために、神離れした人間の肉体に憑依するように入り込んで、その者を動かすという場合があります。
- 15 魔神とは、人間界でいう“憎まれっ子世にはばかる”の“憎まれっ子”役の神です。
『神』に使われているために、自分ではやりたいと思っていないのに、つい戒告等を行ってしまう状態になります。
- 15 邪神、邪霊とは、“『神』離れ”して《自らなつた存在》であり、悪行を犯している者を指します。

★ 群れの集団から離れた羊を、我と慢心の固まった魂に例えると、牧羊犬の役割がサタン・悪魔になり、羊を狙うオオカミが邪神・邪霊となります。

但し、邪神・邪霊の働きにも、『神』仕組みの中で計画的に使われることがあります。
危害を加えている人間も、障っている霊も『神』に使って戴いているのです。

【戒告役とは】

- 25 『神』が容認した「必要悪」です。
- 30 “『神』離れ” = [自我] とした場合、我が強すぎる方には、『神』の御心が届かなくなり、その者を救いたいと思っても働き掛けることが出来ないので、痛い思いをさせることによって正しい道へ軌道修正させる存在です。
また、『神』に対して無礼を働いた者に対しては、罰を与えることが許されている存在でもあります。
- 35 我で凝り固まった方は、どんなに愛情を持って諭しても聞く耳を持ちません。
本当に痛い思いをしないと、自ら改心することは無いので、戒告役を使うことによって、自ら反省する機会を与えられているのです。

★ 神の存在を否定する方でも、自分の命に係わる程の苦しい思いをした時には、最後の最後には必ず“神様助けて下さい！”と、神様に助けを求めます。

生前に神仏の存在を否定していた方は、肉体を失うと、辺り一面灰色の何もない世界の地獄に落とされます。

そして、幾日も幾日も彷徨っても何も無いので、最後には必ず“神様助けて下さい！”と、神様に助けを求めます。